



シルバー高島

発行／(社)高島市シルバー人材センター 広報部会 滋賀県高島市勝野1365 TEL (0740)36-8191 FAX (0740)36-8010

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申上げます。



理事長
川添 宏司

年頭のごあいさつ



切り絵／新旭 伊原辰夫さん

内外ともに不安定な状況がつづき、当センターも平成十九年度をピークに業績が下降し、平成二十一年度で何とか下げ止まりとなり、厳しい環境下で新年を迎えることになりました。今年は「卯年」株式の世界では、兎がぴょんぴょん跳びはねるがごとく、景気が上向くと期待されています。是非そのような年であつて欲しいと、心から願うものです。

高島市シルバー人材センターが設立され、本年は七年目を迎えることになります。しかし、シルバー人材センターを取り巻く環境はますます厳しくなり、一般家庭、公共、企業等からの受注業務も伸びが無く、会員の就業機会の減少と悪い状態が続いています。更に、昨年の政府の行政刷新会議における事業仕分けで、シルバー人材センターに対する補助事業費の削減が守られていないとの指摘を受け、当初の通り三分の一の縮減を守るようにとの判断がなされました。これ以上の運営補助の削減は、シルバー人材センターの運営が困難となる恐れがあり、会員の皆様に大変ご苦労をおかけ致しましたが、署名活動にご協力をお願いした次第です。末端のセン

バーカー人材センターの事業運営に格別のご理解と、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

平素は、社団法人高島市シルバー人材センターの事業運営に格別のご理解と、ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。

ターゲットがいかに厳しい状況であるかを多くの方に認識頂き、これ以上の補助金削減を避けるため、国に対し要望書に添え署名書類を提出したものでした。

シルバー人材センターは、永年培つてこられた知識や技能と経験を活かしながら、働くことを通じて健康を維持し、生きがいを求める高年齢者に対し、その人に応じた就業機会を提供し、地域社会にも貢献できる事業運営を開拓していくものであります。

団塊の世代が「定年退職を迎え」といわれ久しくなりますが、國の方針でもある定年延長制度により、本年六十五歳の定年を迎える団塊世代が私たちの仲間入りをされると予想しております。従つて、当センターとしては、このようない人々の加入促進、就業機会の確保、安全就業、適正就業等取り組むべき課題は山積しています。

これらの課題に向かつて、本年も役職員一丸となつて取り組んでまいる所存でございます。会員各位におかれましても、一層のご理解と、ご協力を願い申し上げます。

最後に会員の皆様が、「自主・自立・共働・共助」の理念の下、健健康で楽しく安全に就業できる年でありますよう、そして皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

事務局だより

高島市協働提案事業 【ごみ減量大作戦】への取り組みについて

高島市のごみ処理量は2万トン。そのごみに係る経費は約14億5千万円と膨大だと聞いております。そのうち可燃ごみ(14,125トン)の中には、約6割(8,400トン)のリサイクル可能な紙資源ごみが含まれているという現状です。

今回、可燃ごみを減量する事により、経費の節減・CO₂排出量の削減を目指し取り組みがなされます。当シルバー人材センターも趣旨に賛同し皆さんと共に減量に取り組みたいと思います。

23年度、市の取り組みに協働で参画してまいりますので、会員みなさんのご協力、よろしくお願い致します。

SSP ワークプログラム事業の実施をしました

団塊の世代が2012年以降に順次65歳に到達する中、今後人口減少を伴う少子高齢化が進んでまいります。

このような中、年齢にかかわりなく働く社会の実現が必要あります。厳しい雇用情勢の下、多様な働き方に対応した雇用・就業の機会の確保がますます重要となってまいります。

福祉の受け手から、社会を支える側に回れるよう、その実現に向け、55歳以上の方を対象に滋賀県連合会や公共職業安定所等、又、高島市には広報紙に掲載等協力を頂き、ワークプログラムを実施しました。

初めて市民の皆さんにも呼びかけし、剪定・襖張り・障子張り等の研修を実施致しました。

各会場では、市民の方・会員の方が一緒に熱心に研修を受けておられました。今回、106名の方より申し込みがあり、当初計画より剪定の研修回数を1回増やし、延べ6回実施致しました。

参加の市民の方からは「シルバー人材センターって何するところ?」とか「このような企画をしてもらいたい、参加して本当によかったわ。」「来年は○○等計画はありますか?」「退職し何かしたいと思っているが、ボランティアだけでも参加したい。」等市民の方のうれしい声をたくさん聞かせてもらいました。

今後機会があれば、就業研修以外にもワークショップ事業の計画にのっとり、ボランティア体験・就業体験・趣味の講座体験等計画できればと思っております。

その時はぜひご参加ください。



株式会社Beスマイル
代表取締役

西村武博

新年明けましておめでとうございます。弊社は、安曇川町田中(南市)におきまして、介護サービス事業の一つであります認知症対応型共同生活介護の「グループホームBeスマイルあどがわ」を運営いたしております。社名は、「自分よし」「相手よし」「世間よし」という近江商人の教えであります「三方よし」の精神に基づき、「利用者やその家族の笑顔」「スタッフ自らの笑顔」「ホームの周辺や地域の皆様の笑顔」、この三者が笑顔になりますようになります。この笑顔、「スタッフ自らの笑顔」「会員様の長年培つたされた経験を生かして手際よくこなして頂いており、またお仕事は、会員様の長年培つてこられた経験を生かして手際よくこなして頂いており、また利用者と昔話や地元のお話などコミュニケーションを取つて頂ける機会があつたりするので、教えて頂くことや勉強させて頂くこともあります。大変有難く思つております。

毎日欠かさずお仕事に来て頂くことなどいろいろ大変なことがあります。会員様・利用者・介護スタッフの三者が笑顔で過ごせる事を目標に、末永いお付き合いをさせて頂ければと思っております。これからもよろしくお願ひ致します。

発注者さんの声～交流～

すること、ひいては家庭復帰を目的としています。

高島市シルバー人材センターには、グループホーム開設以来、毎日朝の時間帯(七時～十時)に利用者の朝食の準備・後片付け掃除(夏季・歳末の大掃除)などの仕事をお願いしております。

お仕事は、会員様の長年培つてこられた経験を生かして手際よくこなして頂いており、また利用者と昔話や地元のお話などコミュニケーションを取つて頂ける機会があつたりするので、教えて頂くことや勉強させて頂くこともあります。大変有難く思つております。

毎日欠かさずお仕事に来て頂くことなどいろいろ大変なことがあります。会員様・利用者・介護スタッフの三者が笑顔で過ごせる事を目標に、末永いお付き合いをさせて頂ければと思っております。これからもよろしくお願ひ致します。



降雪時の除雪対応について

▼シルバー安心見守り事業(除雪作業)

今シーズンも高島市健康福祉部より、表題事業の一環として委託契約を結んでおります。除雪依頼が入りましたら、総括班長又は、班長を通じて作業をお願いしますので、対応の程よろしくお願い致します。

▼除雪範囲

二名体制で、利用者宅玄関から道路まで幅一メートルを確保。但し、屋根雪は対象外ですが、玄関の軒先で危険を感じられたら、除雪棒の届く範囲で搔き落として下さい。

▼利用希望者の地域別人員

北部連絡所	マキノ地域	一二名
新旭連絡所	今津地域	六名
安曇川連絡所	安曇川地域	一名
本部管内	高島地域	八名
合計		三〇名
三名	三名	八名

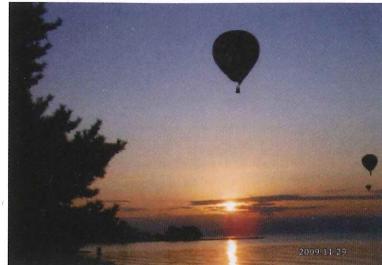


新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えになられた事と存じます。本年も希望に満ちた明るい年になりますよう期待し、職員一同がんばつてまいります。皆様の変わらぬご理解ご協力をよろしくお願い致します。

～事務局より～

私の作品紹介

新旭 大原 巨さん



川柳

人・H考 桑洋一

- ・新年の風腹から背へ突き抜ける
- ・又一つ細身の体に歳がます
- ・近江路を行けば藤樹の里ありし
- ・ほおかむり年輪刻む顔の皺
- ・又一つ越さねばならぬ除夜の鐘

短歌

松田香代子

- ・すすき野を母のせ車椅子押してゆく
- ・小春日和のしづかな午後に
- ・心病む君の笑顔のやさしさに
- ・空越しの朝の陽光につつまれて
- ・瞬間の流れのゆるやかに過ぎる
- ・土器のかけら片手にのせて
- ・悠久に思いをはせる発掘現場で

独自事業部会便り

刃物研ぎしております。市民の皆様・会員の皆様のご利用をお待ちしております。



取次所	作業日	作業場所
本部(高島)		
今津連絡所	8のつく日 (8日・18日・28日)	今津老人福祉センター (駐車場)
安曇川連絡所	毎週土曜日 (8時30分~11時まで)	安曇川図書館 北駐輪場横
新旭連絡所 四季彩館・取次担当会員宅	8のつく日 (8日・18日・28日)	ほおじろ荘



八木勝也
業務担当

九月よりお世話になつております。現在は事務局の皆さんや会員さんから様々な事を教えて頂き、仕事を覚えている段階です。シルバー人材センターという団体について、入社前は名前くらいしか知らずほとんど知識がありませんでしたが、高島市シルバー人材センターには高島市内の五百名以上の会員さんがおり、その多くの方が精力的に活動されていっていることを知りました。

先日の事業仕分けでシルバー人材センターが対象になりました。今後はさらに公益性の高い団体となつていくために変革をしていかなくてはならないという風にも聞きます。このように難しい時代だということを自覚し、私も事務局の力になれるよう頑張っていきたいと思いますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

会報「シルバー高島」へ原稿をお寄せください。感想文・雑感・短歌・俳句・川柳や作品の写真なども結構です。「広報役員・連絡所・本部へお届け下さい。」お待ちしております。

編集後記

新年明けましておめでとうございました。景気の回復を待たずして春を迎えましたが、会員の皆さま方には、お変わりなくお過ごしのことと存じます。本年も変わらぬ御支援を宜しく御願い申し上げます。広報十七号の作成にあたり各会、会員、各位様からの多くの投稿を賜り無事発行する事が出来、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。皆々様方の御健康と明るい年でありますようお祈り申し上げます。

新入職員紹介

原稿募集!